

第642回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1. JR奈良駅周辺整備事業

..... 奈良市三条本町他

- ・1998年に古都奈良の文化財が世界遺産に指定され、2010年には平城京遷都1300周年を迎えた。
- ・近年では観光政策の強化により、インバウンドを中心とする観光客も増加しており、古都奈良の魅力を世界に向けて発信することが重要。
- ・美しい都市景観の形成と併せ、まちの賑わい形成や活性化を加味した個性あるまちづくり、国際競争力の高いまちづくりを推進。
- ・玄関口であるJR奈良駅東口駅前広場の整備は、「都市計画道路 奈良橿原線」の整備の一環で実施。
- ・連続立体交差事業により、JR奈良駅の旧駅舎は地元要望により保存の為に駅舎を一部解体せずに移設する「曳家工事」を実施し、奈良市総合観光案内所として利用。
- ・整備の基本方針は「古の歴史・風土や観光」、「中心市街地の賑わい形成・活性化」、「奈良町衆の生活・コミュニティ形成」とし、『もてなしの心のある街路景観』モデルを形成。



2. 奈良県桜井浄水場

..... 桜井市初瀬

- ・桜井浄水場は、奈良盆地の南東に位置し、室生ダムから取水し、最大で102,000m³/日を奈良市等へ給水。
- ・生物接触ろ過を導入しており、微生物の働きによるマンガン・アンモニア性窒素等を除去し、安全で安心な飲み水を提供。
- ・桜井浄水場では平成22年に接合井と原水貯留池との標高差を利用した小水力発電システムを導入。年間発電量は約156万kWhで、桜井浄水場の使用電力の約40%を賅っている。



3. 奈良県浄化センター

..... 大和郡山市額田部南町

- ・浄化センターは大和川と佐保川の合流部に立地し、奈良県の人口の半分近いおよそ61万人分の汚水を処理し大和川へ放流している。
- ・高度処理施設を導入し、全国的にも水質が良くなかった大和川の水質改善にも寄与している。
- ・汚泥処理の過程で発生するメタンガスの有効利用も実施。
- ・処理施設の周囲には、四季折々の植栽を施した緩衝緑地帯や多目的な利用が可能な自由広場を整備した。また、競技用プールや野球場、テニスコートなどの運動施設や、家族連れで楽しめるこども広場、ファミリープールなどを備えた都市公園「まほろば健康パーク」も立地している。



4. 平城宮跡歴史公園事業

..... 奈良市佐紀町他

- ・国営平城宮跡歴史公園は、特別史跡で、世界遺産「古都奈良の文化財」の構成資産の一つ。
- ・我が国を代表する歴史・文化資産である平城宮跡の一層の保存・活用を図ることを目的として、平成20年度に事業化された国営公園。
- ・古都奈良の歴史的・文化的景観の中で、平城宮跡の保存と活用を通じて、“奈良時代を今に感じる”空間を創出する。
- ・一つの公園として都市計画決定を経た後に、国と奈良県を中心とした地元が連携し、整備する公園。
- ・2010年に実施した「平城遷都1300年祭」のメイン会場として使用。
- ・平成30年3月24日開園予定。

